



東北支部

1. 48年度活動報告

(1) 会議関係

支部総会1回、運営委員会2回、幹事会2回開催

(2) 講演会

- 第1回 48.4.21 東北石油 高井英造氏
“石油業界におけるORの利用について”
- 第2回 48.6.30 東京大学 森口繁一氏
“モデルとデータと計算機” 本部月例講演会として共催

(3) 研究会

- 第1回 48.10.5 河北新報 後藤義雄氏
“新聞業におけるOR事例について”
- 第2回 48.12.19 東北大学 木村正行氏
“意志決定の方法論について”
- 第3回 49.2.14 東北大学 御園生善尚氏
“因子分析について”

(4) 懇親会

支部総会后と第2回講演会后森口先生を囲んでの2回開催し、会員の親睦を深めた。とくに森口先生からは東大紛争時の対策など、語られざるOR秘話といった裏話が披露され、一同大いに感銘した。

(5) 親睦行事

支部としては初の親睦行事の試みとして、11月1日午後10名程度の参加により、仙台近郊の紅葉に映える山峡のニッカ・ウイスキー工場を見学し、好評であった。

(6) 秋季大会対策

1年後に仙台での秋季大会がサイクルからいって

予定されていたため、大会参加をかねて御園生副支部長他が九州大会を視察し、事務局の一つ九州電力にお邪魔し、いろいろと裏話やら苦勞話を聞かせていただいた。

2. 49年度活動計画

(1) 定例の総会と運営委員会を4月に開催し、あわせて東北大学 御園生善尚氏による“数学モデルについて”と題する講演会を行なった。

その他は秋季全国大会準備のため実施できなかったが、今後運営委員会を1～2回、講演会1回、OR研究会を2～3回程度開催する予定。

(2) 49年度秋季研究発表会仙台開催

本年度の秋季大会は6年ぶりに仙台市で10月16、17日研究発表会、18日見学会の日程で開催されたので、以下その経過の概要を記す。

6月20日に第1回の支部準備委員会を開催し、御園生副支部長を委員長とする8名のメンバーで構成する委員会を発足した。以後開催期日まで延5回にわたり実行委員会を開催して、計画、運営に当たり、10月16～18日無事大会を終了した。なお、本部からは渡辺大会担当理事が要所要所に出席された。会場については昨年11月末に物色したにもかかわらず、せっかくご参加の方々には全体的に狭々しい感じの会場（宮城県民会場）しかとれなかったことを紙上を借りてお詫びしたい。

なお、昨年秋九州支部のきわめて円滑な運営ぶりに刺戟されて努力したつもりではあるが、大企業もない弱体支部の悲しさ、実行委員のチームワークでなんとか乗り切ったというところである。

(五十嵐記)